

平成 30 年 12 月 6 日

報道関係者 各位

四国大学／四国大学短期大学部
学長 松重 和美

「落語に学ぶ日本文化イン四国大学」の開催について(ご案内)

拝啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は本学の教育研究活動にご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

四国大学附属言語文化研究所主催の「落語に学ぶ日本文化イン四国大学」を開催します。

今回は日本の古美術と骨董品にスポットをあて、ことば・文化・人間を考究する本研究所の視点から日本文化について考えます。落語家の入船亭扇蔵氏をお招きし、落語「金明竹」「文七元結」を披露していただく他、「金明竹」を素材に刀剣を飾る刀装具や黄檗などの禅の書について本学教員が解説します。

つきましては、下記及び別添のとおり開催いたしますので、ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、取材方ご配慮いただきますようお願い申し上げます。

記

● 日 時 : 2018 年 12 月 13 日 (木) 16 : 30～

● 場 所 : 四国大学 文学館 F205 教室

● 内 容 :

落語「金明竹」

落語家 入船亭扇蔵

解説「落語に見る古美術 刀装具編」

文学部日本文学科教授 須藤 茂樹

解説「落語に見る古美術 禅の書編」

文学部書道文化学科教授 森上 洋光

中入 (休憩)

落語「文七元結」

落語家 入船亭扇蔵

以上

【問合せ先】 〒771-1192 徳島市応神町古川字戎子野 123-1

四国大学 学部運営支援課 (担当: 久我)

Tel 088-665-9909 / E-mail: kugatakeshi@shikoku-u.ac.jp

落語に学ぶ日本の古美術

落語に学ぶ日本文化イン四国大学

主 催 四国大学附属言語文化研究所

日 時 平成30年12月13日(木) 16時30分～

場 所 四国大学F205教室

四国大学附属言語文化研究所がおくる「落語に学ぶ日本文化」。今年は、日本の古美術、骨董品にスポットをあて、ことば・文化・人間を考究する本研究所の視点から考えます。「金明竹」を素材に刀剣を飾る刀装具、黄檗などの禅の書を中心に解説します。

また、江戸の人情話の長編名作「文七元結」が本寸法でじっくり聞けるのもこの会の醍醐味です。

落 語 「金明竹」

落語家 入船亭扇蔵

解説 「落語に見る古美術 刀装具編」

文学部日本文学科教授 須藤 茂樹

解説 「落語に見る古美術 禅の書編」

文学部書道文化学科教授 森上 洋光

中 入 (休憩)

落 語 「文七元結」

落語家 入船亭扇蔵



入船亭扇蔵師匠のご紹介

人間国宝柳家小三治の盟友入船亭扇橋の一番弟子入船亭扇遊の一番弟子。二つ目遊一時代から徳島(徳島市・吉野川市・美馬市・北島町など)でひとり会を開催。古典落語をさわやかに演じてくれる。「悟気の独楽」や「たがや」「夢の酒」が楽しい。「子別れ」や「文七元結」といった人情噺も聞かせてくれる。これからが楽しみである。

四国大学でも、言語文化研究所主催事業として、本学と脇町オデオン座で「落語と日本文化」「落語と文化」を開催、それぞれ日本文学科、文学部(日本文学科・書道文化学科・国際文化学科)の教員とのコラボレーションを行っている。(徳島で江戸落語を楽しむ会須藤茂樹)

問合せ先 四国大学学部運営支援課 088-665-9909